



度会町議会だより

- 広報委員
- 委員長 長谷川多一
 - 副委員長 大西徹
 - 委員 舟瀬勝
 - 若宮淳也
 - 貞森義和
 - 大野原徳



令和4年 第1回臨時議会 令和4年5月25日(1日)
第2回定例会 令和4年6月7日(6月16日(10日間))

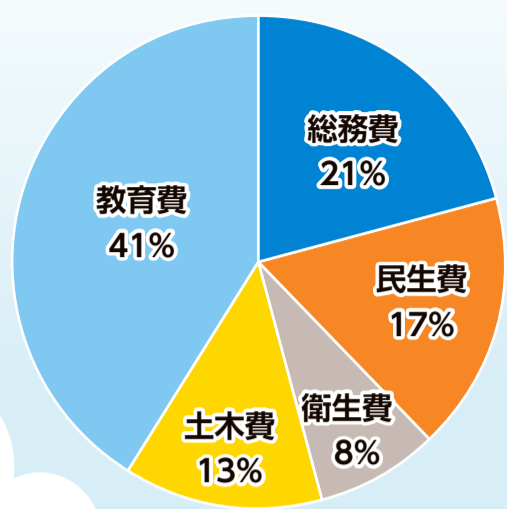
○この度の臨時議会では、新型コロナウイルス感染症対策として、一般会計補正予算第1号により約1億3千万円が上程され、審議の結果議決いたしました。
 ○この度の定例会では、令和4年度の一般会計補正予算第2号により約1億6千9百万円を追加し、一般会計約43億3千5百万円が上程され、審議の結果議決いたしました。

補正予算第1号の概要

町民一人あたり
1万5千円分の商品券を発行する

補正予算第2号の概要

補正予算 (1億6千9百万円)



費用別主な内容

◆総務費 (3千5百70万円)
 ・手続きオンライン化のためのシステム改修

- ◆協業センター外壁修理
 - ◆戸籍システム電算委託料
 - ◆民生費 (2千8百50万円)
 - ・子育て世帯生活支援特別給付金
 - …低所得子育て世帯に対し5万円
 - ・地域交流センター外壁修理
 - ◆衛生費 (1千3百70万円)
 - ・リサイクルステーションの設置
 - …段ボールの収集ボックスの設置
 - ◆土木費 (2千90万円)
 - ・大野木地内の通学路対策
 - ・町道川南線の道路舗装修繕
 - ◆教育費 (4千百81万円)
 - ・小学校体育館トイレの増築
 - ・中川体育館の屋内トイレの改修
 - ・ネットワーク環境の更新
 - ・ワンタッチテントの購入
- 以上が費用別の主な事業内容です。

町内視察

① 県道改良事業 (長原～鮎川間嵩上げ)

豪雨時に道路が冠水し通行不能となることから嵩上げ工事を行っています。
 (令和4年度完了予定)



嵩上げ工事現場

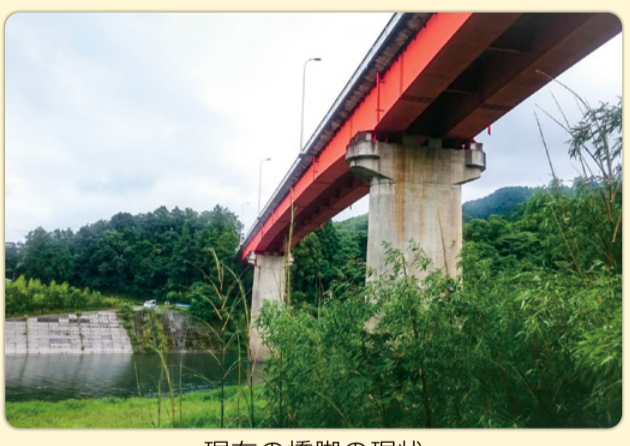
定例会終了後、町内視察を行い、今後の工事予定箇所および町の資産について担当課から説明をいただきましたので報告いたします。



嵩上げ工事視察風景

② 町道田口大橋 橋脚耐震補強工事

(令和6年度完了予定)



現在の橋脚の現状



橋脚の状況視察風景

町内視察

3 町民の方より寄贈いただいた土地の視察

5月2日に町が締結した契約に基づき寄贈された土地の現況視察を行いました。

【所在地】度会町棚橋字八石1126-5

【面積】10,661㎡

【地目】雑種地



寄贈された土地の状況



寄贈された土地の視察風景

一般質問

若宮 淳也 議員



○デジタル田園都市国家構想について

度会町は、これまで近隣の6町と連携して、スーパーシティ構想を進め、現在、デジタル田園都市国家構想を申請中...

また、①共通地域



ポータル②デジタル地域通貨③観光メタバースポータル④データ連携基盤の分野すべてに参画して...

みらい安心課長答弁

共通部分が多くスーパーシティ構想をデジタル田園都市国家構想が引き継いだ形と考えていた...

4つの取り組み内容としては、①役場に出向かなくとも手続きができるなど、様々な情報交換が...

貞森 義和 議員



○保育所の環境について

長原、棚橋、中之郷各保育所における現況について訊ねる。『児童福祉施設最低基準』設備の基準第32条に於いて...

保健子ども課長答弁

長原保育所では基準数に基づく6人、棚橋保育所では16人に対し17人を、中之郷保育所において...

会計年度任用職員のボーナスを含めた給与面は、会計年度職員制度に移行するときに各職員に説明し、了解を得て勤務していただいております。

3歳未満児の給食費の町負担についてですが、本町では保育料に給食費を含んで徴収しており、3歳以上児は、給食費相当額4,500円に...

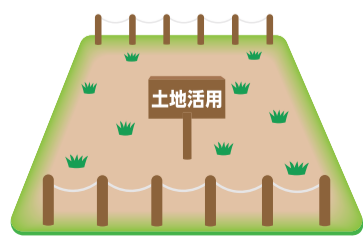


大西 徹 議員



○寄贈土地の有効活用について

度会町へ寄贈された棚橋地内の土地(1万661平米坪換算で約3千224坪)について、現地は境界確定も...



町長答弁

有効活用への計画については、正式な寄付採納からまだ日も浅く、現時点においては具体的な活用方法の決定にまでは至っていない状況にありますが...

編集後記

ほうれんそう

事前に、「今回は、こういう所へ視察に行くんですよ。」と町民の方や、問い合わせのあった方に連絡します。

そこで、町内の工事箇所や、工事する予定箇所、更に、度会町が所有する土地の状況などを担当課に質問して相談します。そのうえで、進捗状況を町民の方や、問い合わせのあった方に報告します。これも我々、議員の大切な仕事であって、ほう(報告)、れん(連絡)、そう(相談)に直結します。少しずつ、人の動き、流れが緩和される中で、コロナ対策を万全にして視察を行える回数も増えてきました。誰にでも分かりやすく伝える事が出来る様に、更にスキルアップを図ります。